



Midorea—OV vol.3

阿賀野市

ACCESS

新潟駅や新潟空港
(新潟市)から車で
約30分



次世代へつなぐ、有機米。

阿賀野市は、約40年前からパルシステム生活協同組合の組合員らを招いた田植ツアーなど産直交流を通じ、有機米の生産・販売に取り組んできました。現在では、健康や環境保全の意識の高まりなどを背景に、有機への注目度が高まり、有機米に対する需要は旺盛な状況です。

一方、販売単価が高い有機米と言っても、生産に手間がかかることから、新たに有機米を生産する者は急激には増えず、また、既存生産者の作付面積も同様の傾向にあります。

そこで、令和6年度から「オーガニックビレッジ事業」と銘打って、「スマート農業による作業の省力化」「学校給食への提供」などに取組み、有機米の産地化だけでなく、阿賀野市産米のブランド価値向上を目指し、令和7年7月、「オーガニックビレッジ宣言」を行いました。

取組紹介

○スマート農業技術の活用

自動除草ロボット、乗用除草機など省力化に役立つスマート農業技術を普及させ、従来の除草技術（チェーン除草など）と組み合わせた雑草管理を進めます。

○環境にやさしい農業の推進

化学肥料・化学農薬の使用量低減などを推進し、有機米や環境にやさしい米に対する価値を高め、消費者へのPRを進めます。

○学校給食への提供

現在進めている「地産地消」の取組に有機農産物も位置づけて、市内中学校の学校給食での使用量を増やしていきます。



農業法人(エコファームささかみ・夢の谷ファーム)と 地域おこし協力隊

阿賀野市では、新規就農者の確保を目指し、また、有機米の栽培を学べる環境を整えるために、阿賀野市オーガニック推進協議会を立ち上げ、就農準備資金に関する県認定研修機関として認定を受けました。

その中心的な研修先が「エコファームささかみ(株)」と「農事組合法人夢の谷ファーム」です。

エコファームささかみ(株)は、農業支援サービス事業体としての役割も担っており、有機米の栽培においては、令和7年度から、乗用除草機を活用した水田除草受託に取組み、オペレーターとして地域おこし協力隊が活躍しています。



農業者(瀬藤達哉さん)と 地域おこし協力隊

阿賀野市では、令和6年度から「オーガニックビレッジ事業」と銘打って、有機米の産地化に向けて活動しており、取組みの一つとして、学校給食へ有機米を供給しています。令和7年度からは、米だけでなく、野菜の供給にも挑戦するために、有機野菜(学校給食主要野菜)の実証栽培にも取り組んでいます。実証者の中には、地域おこし協力隊を受入れ、じゃがいも、長ネギ、人参、大根といった野菜を試験的に栽培する方もおり、少しずつ活動の輪を広げています。



令和4年10月に開業した道の駅あがの。阿賀野地域を中心に、農産物、お土産品などを販売し、地元の食材を使った料理も提供しています。

道の駅あがのは、有機農産物販売コーナーを設置したり、オーガニックに関するイベント会場になるなど、市が取組む「オーガニックビレッジ事業」の情報発信機能を担っています。

取組みの一つとして、環境に配慮した農業を応援するために、温室効果ガスを減らした農産物であることを示す「みえるらべる」が貼られた農産物の販売にも取り組んでいます。

営業時間 9時～18時
元日・不定休
阿賀野市窪川原553-2



道の駅 あがの NIIGATA

